

改訂第5版によせて

この度、「改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック」を皆様のお手元にお届けできて嬉しく思います。

心肺蘇生法教育が我が国で行われるようになって20年以上が経過しようとしており、この間にも国際的なガイドラインが4回更新され、学習内容もそれに応じて刷新されています。この間に、ICLSコースは国内においてシミュレーション教育の主たる地位につき、全国各地で数多く開催され多くの受講者を輩出してきました。一重にICLS認定コースディレクターやインストラクターの努力の賜物だと考えております。

本書は「JRC蘇生ガイドライン2020」および「改訂6版救急蘇生法の指針2020医療従事者用」に準拠した内容となっており、二次救命処置を正しく学べるように記載しています。蘇生ガイドラインが発表された昨秋よりコースガイドブックの内容を見直し、さらに救急蘇生法の指針が今春に発表されたのちにはアルゴリズムや薬剤、用語の整合性を確認するなどして、できる限り早い時期に学習の場に出す努力をしてきました。新しいガイドラインに沿ったものを医療現場に役立たせてもらうことが我々の目的です。また、これまでのガイドブックの内容に加えて、より臨床に役立つ情報を載せることを考えてトピックスを増やしています。これらの作業に対してスピード感をもって尽力してくれたワーキンググループ委員と執筆協力者に感謝します。

このように完成した本書が、二次救命処置を学ぶ人の役に立ち、さらには心肺停止状態の傷病者へ対応する際の一助となることを願っています。

2022年8月

日本救急医学会ICLSコース企画運営委員会 委員長
(桑名市総合医療センター 救急科)

畠田 剛